



すきなこと どんどんふやして おおきくなあれ(令和6年度児童福祉週間標語)

5月5日～11日は こどもまんなか 児童福祉週間

問い合わせ こども家庭センター ☎229-3120 ㊚229-3451

子どもが家庭や地域で豊かな愛情に包まれ、たくましく育っていく環境・社会づくりは、とても重要です。子どもの健やかな成長についてみんなで考えるため、毎年5月5日のこどもの日から1週間は「こどもまんなか 児童福祉週間」と定められています。これにちなみ、児童館で以下のイベントを開催します。



まん中こどもまつり

と き 5月11日(土)13時30分～15時15分

ところ まん中こども館

内容 映画「夢みる小学校」の上映

申し込み 直接窓口またはファクス、Eメールで同こども館(㊚213-2132、㊚mail@mannaka-kodomokan.net)へ

問い合わせ 同こども館(☎213-2131)

すばるこどもフェスティバル

と き 5月11日(土)①10時30分～11時30分 ②13時30分～16時

ところ すばる児童館(一身田平野)

内容 ①浦中こういちさん(絵本・遊び作家)による乳幼児ふれあい遊び ②ダンス体験教室、喫茶コーナー、昔遊び体験など ※①のみ要事前申し込み(㊚20組、電話で同児童館へ)

問い合わせ 同児童館(☎236-0115)

さくら児童館子どもまつり

と き 5月12日(日)10時～11時30分

ところ さくら児童館

内容 輪投げ、スーパーボールすくい、お絵かき、パットゴルフ、ストラックアウト、ボウリング、コリントゲーム、消防訓練、津波避難用外付け階段体験会など

問い合わせ 同児童館(☎225-3160)



地域の身近な相談相手

5月12日は 民生委員・児童委員の日

問い合わせ 福祉政策課 ☎229-3283 ㊚229-3334

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域のボランティアとして高齢者福祉、障がい者(児)福祉、児童福祉、母子・父子・寡婦福祉、低所得者福祉等、地域福祉に関することについて、行政や市社会福祉協議会などと連携を図りながら、社会福祉の増進のために活動しています。

活動内容

- 高齢者、児童、障がい者など、福祉の支援が必要な地域住民の実情の把握

- 住民福祉の増進を図るための活動や相談、助言
 - 福祉サービスの利用に関する情報提供
 - 地域包括支援センターなどとの連携、支援
- ※民生委員・児童委員には守秘義務があり、活動の中で得た個人情報や秘密は固く守られますので、安心してご相談ください。なお、居住地区を担当する委員についてはお問い合わせください。

津市民生委員児童委員連合会会長の声



岡恒文会長

私たち民生委員・児童委員は、さまざまな問題を抱える地域の皆さんの身近な相談相手、地域の見守り役です。

昨年、三重県における民生委員制度は創設100周年を迎え、津市においても、大正13(1924)年1月に民生委員制度の前身の津市方面委員設置規定が制定され、今年で津市民生委員制度100周年を迎えます。

地域のつながりの希薄化や住民が直面する課題の複雑化・多様化に伴い民生委員・児童委員への地域の皆さんの期待は高まっている一方で、企業の定年年齢の延長、過疎化・高齢化に伴い地域に適任者がいないなど、民生委員・児童委員のなり手不足が問題となっています。

活動を通じて誰かに喜んでもらったときや、委員同士の仲間ができたときにやりがいや喜びを感じています。私たちと一緒に地域のために民生委員・児童委員になりませんか。

